

農業用ため池のパトロールを行いました

農業用ため池は農業生産における重要な施設の一つですが、豪雨等の自然災害で被災した場合は、営農活動のみならず、地域住民の安全にも影響を与える可能性があります。

このことから、7月1日の「国民安全の日」に合わせ、富山県内の主要な農業用ため池の一斉安全パトロールを実施し、災害の発生防止と地域の自主防災意識、さらには安全管理意識の向上を図っています。

砺波農林振興センターでは、例年は農業用ため池の管理者を一堂に集め、ため池点検方法の再確認や管理技術の向上を目指し現地研修会を開催していますが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、参加人数をなるべく少なくし、管内5ヶ所のため池においてパトロールを行いました。

南砺市エリアでは、①大堤（福野町土地改良区）、②川合田四ツ堤（福光町土地改良区）、③大鋸屋西谷ため池（城端土地改良区）の3箇所、砺波市エリアでは④能子堤（砺波市土地改良区）、⑤竹部第一の池（砺波市土地改良区）の2箇所について、堤体からの漏水があるか、あるいは洪水吐が枯れ木等で閉塞されていないかなど、これからの梅雨の時期を迎え支障が生じているかどうかを点検しました。



大堤（南砺市）



竹部第一の池（砺波市）